



# ながえの里だより

**【基本理念】** わたくしたちは、すべての人に等しく 仁愛の精神をもって接し、心の通う医療の実践に努めます。

**【基本方針】** 責任:生命の尊厳を第一の課題として重んじ責任をもって行動する  
安全:すべての行為に対して細心の注意を払い安全の確保に努める  
協調:チーム医療に徹し互いに協調しその実をあげることに努める  
奉仕:すべての人に等しく仁愛の精神をもって接し医療を通じて社会に奉仕する

## 言葉にならないこと

理事長 村尾文規

数日前、登山家の三浦雄一郎氏が再びヒマラヤの登頂を目指すというニュースを見た。80歳にしてこのモチベーションは、一体、どこから生まれてくるのだろうか？何歳になっても希望を持つことができるということを知って感動を覚えた。私たちは『仁愛』を理念の中核に据えている。仁愛とは、一体、どういう意味なのか、既に小欄にも取り上げているが、新年度にあたりふたたび提起した。広辞苑によると、仁愛とは、恵み慈しむ、思いやり、情けとある。意味も微妙に違っていることに気づく。たとえば、情けには、他をあわれむ心、慈愛、人情、思いやり、感情とある。意味はわかる。何となくである。慈愛、人情、思いやり、感情を包含する雰囲気を感じているのである。だから何となくである。この雰囲気こそ『仁愛』の核心を衝いた意味であろう。言葉に依存することは核心をはずれることもありえると言ふことだ。それならばそのような雰囲気を感じ、そのような環境を作ればいいということだ。私がくり返し話しているフレーズがある。入院された患者様の表情が一週間もすれば、すっかり『穏やかな表情』に変貌しているというフレーズである。発語のない方の表象こそ紛れもなく言語なのである。言葉にならないことこそ、大切だということを知るべきである。みなさまは、すでに『仁愛』という真の意味を会得しているということなのだ。この雰囲気の成熟をはかるためには、わずかな雰囲気の違いを察知する能力、つまり感性が重要である。自分という枠の中に閉じこもると、なかなか育たない。自分という枠の境界線を広げる必要があり、そこに感性が関わっている。感動を覚える数だけ感性は育つようと思う。そうであれば、何歳になっても希望をもつことが大事だということになる。今、我が家のかな庭に水仙の花が咲いている。その花言葉は尊敬、心づかいであるとか。可憐な花にそっと顔を近づければ、花の精が何か囁いてくれるかもしれない。



## 新任のごあいさつ

事務長 西村 美智子



この度事務長に就任いたしました西村美智子です。

3月に夫である前事務長が病気の為他界し、そのあとを引き継ぐことになりました。



前事務長は、昭和62年の開設当初より初代事務長と共に「地域の皆さんから認められる病院作り」を目指し26年間尽力してきました。また地域においても、自分の特技を生かし子どもたちのバレーボールの指導を通じて子供の育成にも携わってきました。何よりも人が喜ぶ事が好きで、常に「For You」の精神で人と接する人でした。入職時、職員には必ず「何よりも思いやりを持って患者さんに接してほしい」と言っていましたが、当院の基本理念である「全ての人に等しく、仁愛の精神を持って接し心の通う医療の実践」自ら実践した人でした。

さて、昨今の厳しい社会情勢の中で、当院のような療養病床が生き残っていくには厳しい状況にあります。村尾院長が常日頃「質の向上」こそが生き残る手段であると申しておりますが、病院に求められる質とは何でしょうか。患者さまの多くは肉体的、精神的な苦しみ、痛み、悲しみなど持っておりますが、そんなことが少しでも軽減され、「笑顔」がひとつでも多く生まれることこそが、質の向上ではないかと思っています。そのためには、技術・知識を上げることはもちろん、その根底には、まさに前事務長が実践してきた「仁愛の精神」が一番になければならないと思っています。

これから事務長として、前事務長の意思を引き継ぎ、療養病床に求められる役割をよく考え、「患者様、地域にとっても、また職員にも高い満足度が得られる病院づくり」を目指して頑張っていきたいと思っています。どうかよろしくお願ひいたします。



## 大変盛り上がりました

平成25年3月8日、バンド「シラガーズ」のメンバーは、ウクレレ大江武芳様 ギター芳山秀樹様 キーボード大江久都様の3人で、平成12年に結成され、初コンサートは当院で開催していただいたそうです。

12年ぶりに春待ちコンサートを開催していただきました。全12曲を演奏していただきましたが、メンバーの合計年齢が208歳とは思えない、はつらつとした楽しいコンサートを披露していただきました。患者の皆様・職員は、コンサートで大いに盛り上がり、みなさんから元気をたくさん頂きました。「シラガーズ」の皆さん、ありがとうございました。次のコンサートを楽しみにお待ちしております。 (山崎)

## 今日のレクリエーションの紹介

今日のレクリエーションは隠元豆の日なので、「隠元豆送りゲーム」をしました。豆に見立てた紙風船を、ダンボールの杓文字で送り、鍋に投げ入れました。季節に合ったレクで、患者さまの毎日が少しでも楽しく笑顔であればと思っています。



## お花見会を終えて

岡原みどり

4月10日は、待ちに待った同仁病院花見会でした。

当日の天気も少し気になってはいましたが、雨こそ降らなかったものの、冷たい風であった為、やむなく屋内で行なう事となり少し残念でした。

しかし、大勢の御家族の方々にお越しいただき、普段見られない笑顔をみたり、御家族の「わあ～初物だ！これを食べて長生き出来るわ～」とお弁当を見て嬉しそうな声が聞こえてきたり、なごやかなひとときを過ごすことが出来ました

是非、来年もおいで下さい。今年は出来なかった桜の花の下で初物を食べに・・・



中からの桜のお花見になりました

## お花見に参加いただいたご家族の紹介



### 白根様 ご家族

毎年楽しみにしてのご参加ありがとうございます。



### 丸橋様 ご家族

親子4代でのご参加ありがとうございます。

(患者様・御家族様からのコメント)

毎年のお弁当がおいしく、とても楽しみにしています。  
今年は肌寒く、外に出られなかつたのが少し残念でした。

(患者様・御家族様からのコメント)

初めて食べる山菜もあってお弁当を美味しくいただきました。みんなでお花見出来て良かったです。

## お花見弁当のご紹介



今年も栄養課でお花見弁当を作らせていただきました。

職員の皆さんから持ち寄っていただいた、セリやこごみ、つくし等を使い季節感のあるお弁当ができました。

患者様やご家族から「おいしいです。ありがとうございます」と声をかけていただいたり、「懐かしいね」と笑顔で話されているお姿を見て、私達も元気をいただきました。

また、飲み込みの機能が低下されている患者様には、形があって柔らかく、飲み込みやすい食材を使用して見た目にも楽しめるようお弁当を工夫しました

## ～山ちゃんの旅日記～

看護部 山吉広尚

今回は、4月1日に福山駅近くにある福山城に行ってきました。

この城は、備後10万石の領主・水野勝成が3年の歳月を費やし構築したものです。昭和41年に外観復元されて国の史跡になっています。市民には定番のお花見スポットで行った日にも家族・友人で天守閣近くでされていました。昼だけでなく夜も宴を開く人々で賑わいを見せます。



## 庄原同仁病院 職員同好会の紹介



### 小原流いけばな同好会

平成19年7月より、毎月1回、17時より竹島豊信先生のご指導の元、現在9名でいけばなを勉強しています。ひとときのおしゃべりも楽しんでいます。



### 写真同好会

写真同好会は現在5名で活動しています。テーマを決め、時には泊りがけで撮影旅行へ出かけます。作品は常時、院内のコーナーで展示しています。



### ヨガ同好会

ヨガ同好会は、月2回、第1・3金曜日17時20分から50分間、西城町にお住まいの小原インストラクターの指導のもとで行っています。無理せずマイペースで体を動かすことで、とてもリフレッシュ出来ています。皆さんもどうですか？興味ある方は是非1回のぞいて見て下さい。



2月4日5日、7名で札幌雪まつりを楽しみ、北海道の味を堪能した旅でした。

### 創立25周年 記念職員旅行 【後半】

25周年記念旅行後半も国内、国外へと小グループで旅行に出かけ、日頃の疲れを癒し、職員の懇親を深めることができました。

【宿泊旅行】  
10/16～17 東京スカイツリー  
10/28～30 済州島  
10/31～11/1 大阪USJ  
11/15～17 北海道（道南）  
2/4～5 北海道 札幌雪祭り



【日帰り旅行】  
10/18 萩八景めぐり  
1/21 山陰力二極み膳  
2/19 岩国ふく福グルメ

10月16・17日、東京へ浅草寺から東京スカイツリーを眺めたあと、スカイツリーに上りました。

## 2年目を迎えた 職員紹介



左から

長尾美和 看護部  
花田拓也 看護部  
瀬尾里美 看護部

2年目も、引き続きよろしくお願いします。（長尾）

2年目も、精進していこうと思います。（花田）

皆さんに感謝しています。引き続きお願いします。（瀬尾）



熊本由紀子  
看護部

同仁病院に勤め始めて2年目になりました。ハードな1日の仕事の中でも、ホッと出来るひと時を持てるよう、これからもやっていきたいと思います。（熊本）



佐々木由美子  
看護部

## 編集後記

暖かい日々が続き、春を感じさせる時季になってきました。

春といえば新しいことが始まるスタートの季節でもありますね。ここ同仁病院でも新たな事務長を迎え、スタッフ一同、今まで以上に協力し合いひとつにまとまっていかなくてはなりません。前事務長の志を引き継ぎ和と仁愛の精神を大切にし、春の陽気のように患者さんと笑顔あふれるいこいの場を作りたいと 思います。また、一人ひとりが目標を掲げステップアップしていくならとも思いますが、どうか引き続き宜しくお願い致します。

看護部 田邊